

# 氾濫発生情報の発表について

---

令和元年10月

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

# 氾濫発生情報の発表について①

- ▶ 河川において堤防の決壊等によって氾濫が発生した場合は、水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、国土交通省と気象庁が共同して氾濫発生情報を発表することになっている。
- ▶ 台風19号によって、多くの河川で氾濫が発生したことを踏まえ、改めて氾濫発生情報(洪水予報)がどのような状況で発表されるか、防災を担当する関係機関で共有しておきたい。

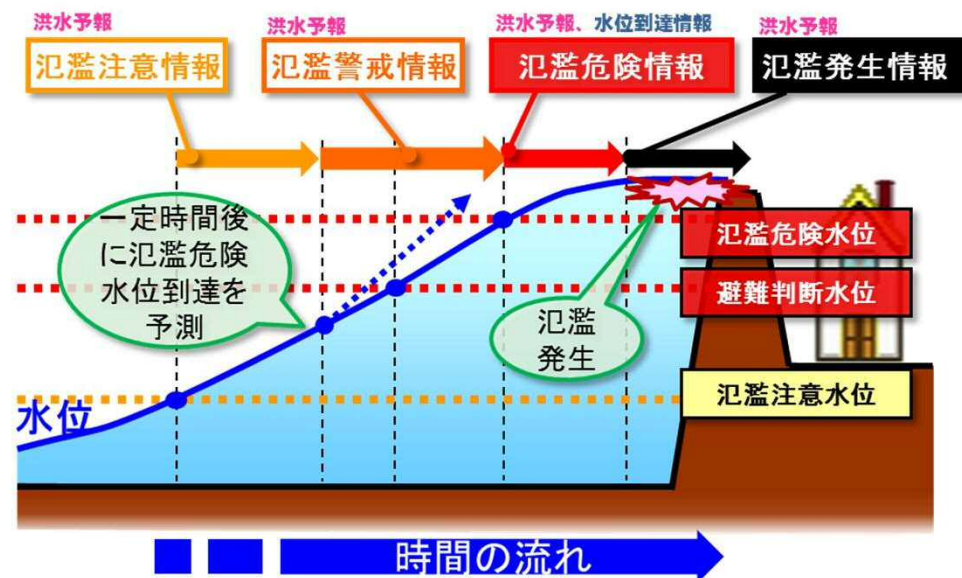
## 洪水予報とは

### 洪水予報【気象庁と国交省又は県が共同で発表】

・河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、国土交通省または都道府県と気象庁は共同して、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位または流量を示した予報。

氾濫発生情報の発表基準は「氾濫の発生」

洪水予報の標題(種類)	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報【警戒レベル5相当】 (洪水警報)	氾濫の発生	氾濫水への警戒を求める段階
〇〇川氾濫危険情報【警戒レベル4相当】 (洪水警報)	氾濫危険水位に到達	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
〇〇川氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】 (洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位(レベル4水位)に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
〇〇川氾濫注意情報【警戒レベル2相当】 (洪水注意報)	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階

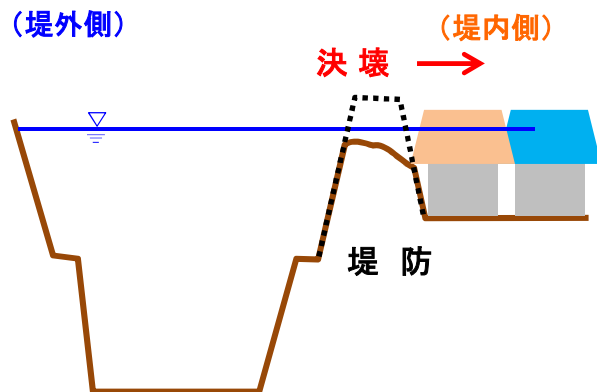


# 氾濫発生情報の発表について②

## 氾濫発生情報の発表基準である「氾濫の発生」とは

- 「氾濫の発生」とは、「①堤防の決壊による氾濫」、「②堤防からの越水による氾濫」、「③堤防がない箇所から溢水により氾濫し、家屋が浸水した場合」の状況になった時点で氾濫発生情報を発表する。
- 「③堤防がない箇所から溢水により氾濫し、家屋が浸水した場合」において、氾濫が発生した時点ではなく家屋の浸水とした理由
  - ・ 溢水による氾濫は河川水位が比較的低い状況で発生することが多く、その状況を「氾濫の発生」とすると、氾濫発生情報を頻繁に発表することになり、氾濫発生情報が形骸化する恐れがある。
  - ・ そのため、堤防のない箇所での溢水による氾濫は家屋が浸水する状況を「氾濫の発生」として氾濫発生情報を発表することとしている。
- 佐波川には堤防のない箇所が多数存在しているため、適切な氾濫発生情報の発表を行えるように対応している。

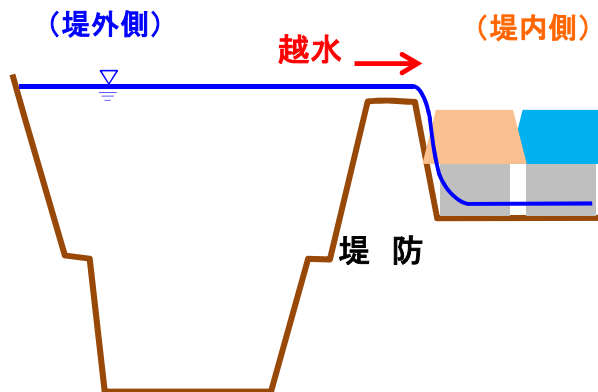
①堤防の決壊による氾濫



【決壊】  
増水した河川の水等が、堤防を削り、堤防が崩壊する状態のこと。

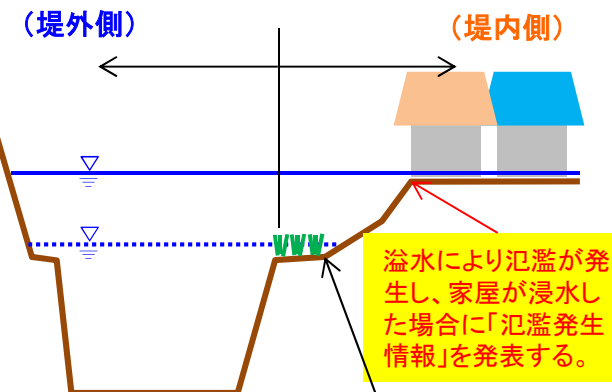
※ 堤防は、河川の水が堤防を越水する前に、水の勢いで削られたり、水が堤防内に浸透して崩れたりして決壊することがある。

②堤防からの越水による氾濫



【越水】  
増水した河川の水が、堤防の高さを越えて溢れ出す状態のこと。

③堤防がない箇所から溢水により氾濫し、家屋が浸水した場合



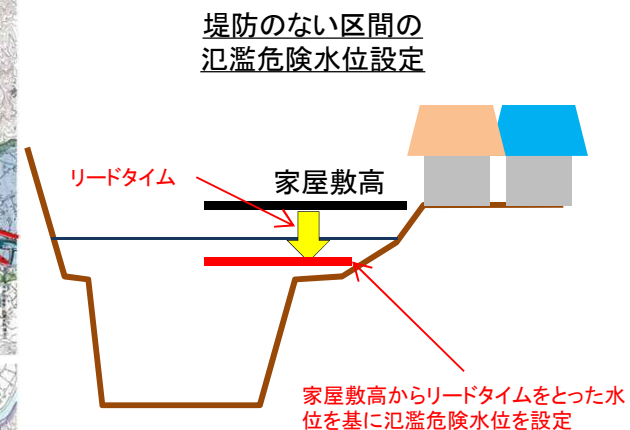
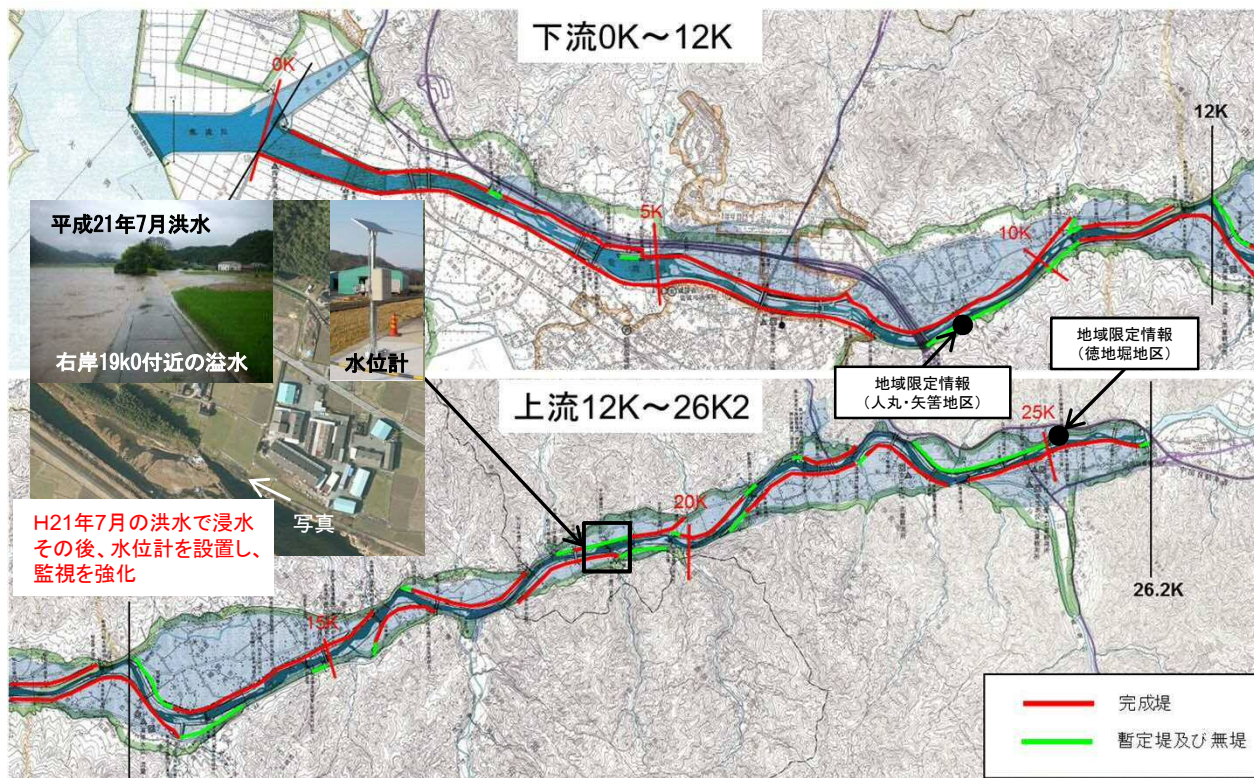
【溢水】  
無堤区間で河川の水が溢れ出す状態のこと。

溢水により氾濫が発生し農地等が浸水した時点では「氾濫発生情報」は発表しない。

# 佐波川における堤防のない箇所の水防対応

- 佐波川では堤防のない箇所が多数存在している。
- そのため、浸水した場合の状況を素早く把握するため、水位計や河川カメラを設置しており、洪水時には河川巡視も行う。
- また、堤防のない付近の住民の方が避難できるように、堤防のない箇所では、家屋敷高から住民の避難行動にかかる時間等(リードタイム)も考慮し避難勧告等の目安になる氾濫危険水位を設定している。
- さらに、家屋が特に低い箇所については、氾濫危険水位(警戒レベル4相当)とは別に避難勧告等の目安になる水位(地域限定情報水位)を定め、住民へ情報発信するようにしている。(地域限定情報)

## 佐波川の堤防整備状況と堤防のない箇所の水防対応



## 佐波川での地域限定情報

地区	地域限定情報水位 (避難勧告等の目安水位)	基準観測所
人丸・矢筈	3.4m	新橋観測所
徳地堀	3.6m	堀観測所

地域限定情報水位は、この地区において「警戒レベル4相当」にあたる情報で、地域限定情報水位に達する恐れがある場合と超過した場合に情報発信する。